

製品名: ADAP1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81936**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	43.4kDa

抗原情報

遺伝子名	ADAP1
別名	GCS1L; CENTA1; P42ip4
遺伝子 ID	11033.0
SwissProt ID	O75689
免疫原	大腸菌で発現したヒト ADAP1 (AA: 240-370) の精製された組み換え断片。

背景

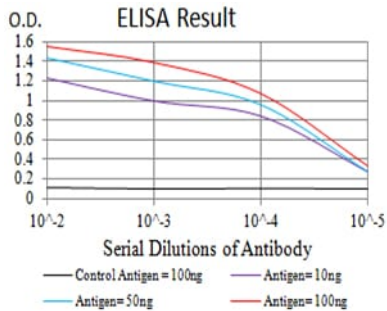
ADAP1 (ArfGAP With Dual PH Domains 1) はタンパク質コード遺伝子です。関連パスウェイには、クラス I PI3K シグナル伝達イベントと B 細胞受容体シグナル伝達経路 (sino) があります。この遺伝子に関連する GO アノテーションには、GTPase 活性化因子活性

とイノシトール 1,3,4,5-テトラキスリン酸結合が含まれています。この遺伝子の重要なパラログは ADAP2 です。

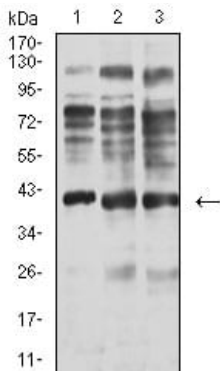
研究分野

-

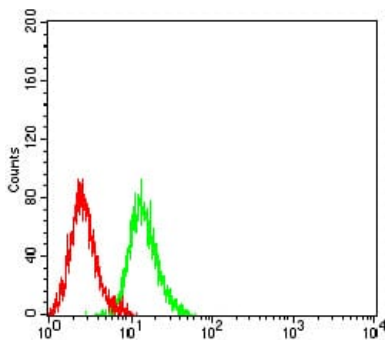
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



C6 (1)、A549 (2)、および HepG2 (3) 細胞溶解物に対する ADAP1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



ADAP1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。